

一人で遣れるか本襖の張替え (押入編)

2020(令和2)年12月17日
菅原 政治郎

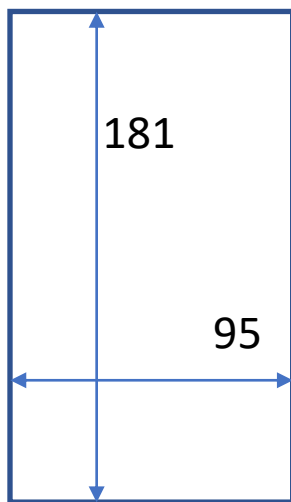
1. 背景

団地に引っ越してから、一度も襖の張替えをしたことが無いので、インターネットの情報を基に、**押入用**に40年振りとなる本襖の張替えを**一人で**遣ってみました。
(家族寮に住んで居た時、寮を出るに当たり、畳を除いて、原状回復として、襖を張り替えました。)

一人で張り替える場合の**課題を摘出**しましたので、皆さんの作業の一助となれば幸いです。

1.1 下準備 - 襖紙、枠寸法の確認

(1) 襖紙の寸法確認



当団地の襖の一例ですので、寸法は各自必ずご確認ください。

市販の襖紙を購入しました。襖紙の公称寸法は94cm x 180cm として市販していますが、実際には余裕を持った寸法になっています。

実際に計測した寸法は、95cm x 181cm と、1cmの余裕が有ります。(図1-1参照)

図1-1 市販の襖紙の寸法(一例)
単位: cm

(2) 木枠の寸法確認

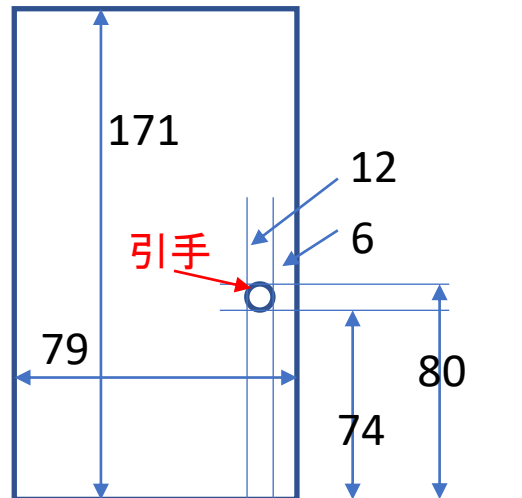


図1-2 木枠の寸法(一例)
単位: cm

ここで「**木枠**」とは、実際に襖紙を張る範囲のフレームの事を言います。即ち、襖から上下左右の枠を外したものを指します。

木枠の一例を図1-2に示します。

忘れがちになりますが、必ず**引手の位置を確認**してください。これを忘れると、折角襖紙を張ったのに引手を取り付けられなくなります。

(**引手穴の寸法は、大、中、小と有りますので、必ず確認してください。**今回の穴径は6cm でした。)

(3) 襖紙への寸法記入

襖紙を綺麗に張るには、襖紙の裏に寸法を記入する必要があります。

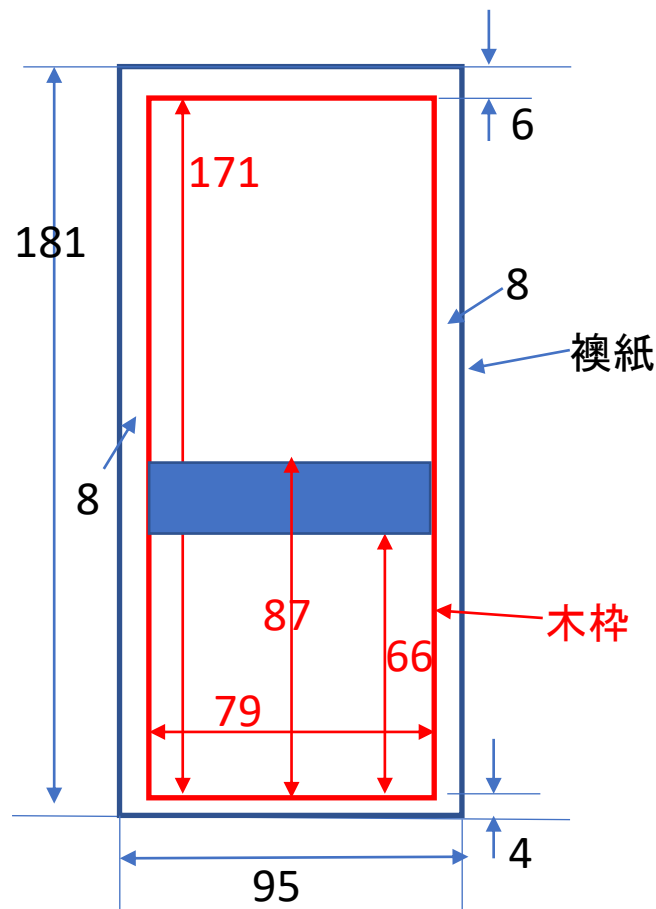


図1-3 襖紙の寸法記入(一例)
単位: cm

- ① 襖紙には、基準となる目印が紙の上下の位置にあります。もし無かったら、紙の一番下を基準位置とします。
- ② 基準位置から折り返し部分を見込んで、今回の場合4cmの位置が木枠の一番下の位置になる様に、襖紙に油性ペンで線を引きました。
- ③ 今回、無地の襖紙ではなく、青帯のあるものを使用したので、この青帯の中央が引手の中央になる様に寸法を計算しました。

(無地の場合は、この様な心配は必要ありません。
初めての人には、無地を推奨します。)

(3) 襖紙への寸法記入（続き）



写真1.1 線引例

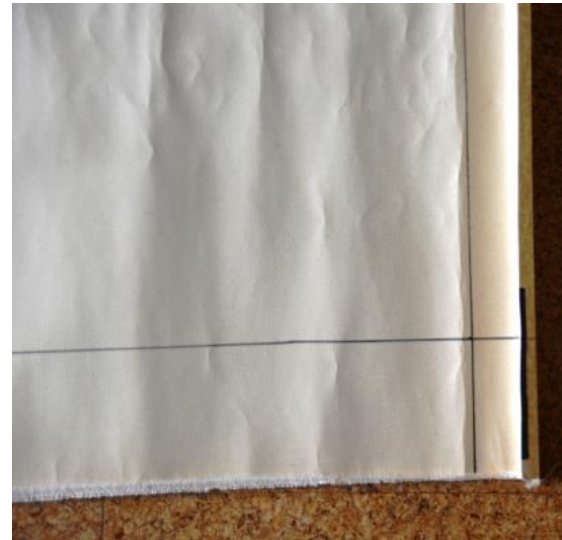


写真1.2 線引例

上記写真は寸法記入の例です。線を引くに当たり、カーテンや本棚に使われるアルミ製のガイドレールを使用しました。
(襖紙は20年前に購入したので、かなりしわが入っています。)

(4) 襖の補修



写真1.3 表補修前



写真1.4 補修紙

- ① 張り替える前の襖紙が非常に破けている場合を除いては、特に手当はせず、そのままにしておきます。
- ② 今回、写真1.3の様な状態でしたので、さすがに表面のみ事前に補修しようと思いました。写真1.4は補修紙です。
- ③ 写真1.5は、上記②の補修紙を用いて、取り敢えず補修したところです。(補修紙は、紫色の部分を下にします。)
- ④ 襖の裏側が破けている場合、一般的には襖紙を張る前に障子紙等で補修をする様に書いてありますが、枠を取り付けるときに、裏紙を破いてしまいます。このため、**裏の補修は特に破損がひどい場合を除いては、襖紙を張り終え、枠を取り付けた後に手当をすることを推奨**します。(後述2.5 参照)



写真1.5 表補修後

(5) 外枠の豆知識

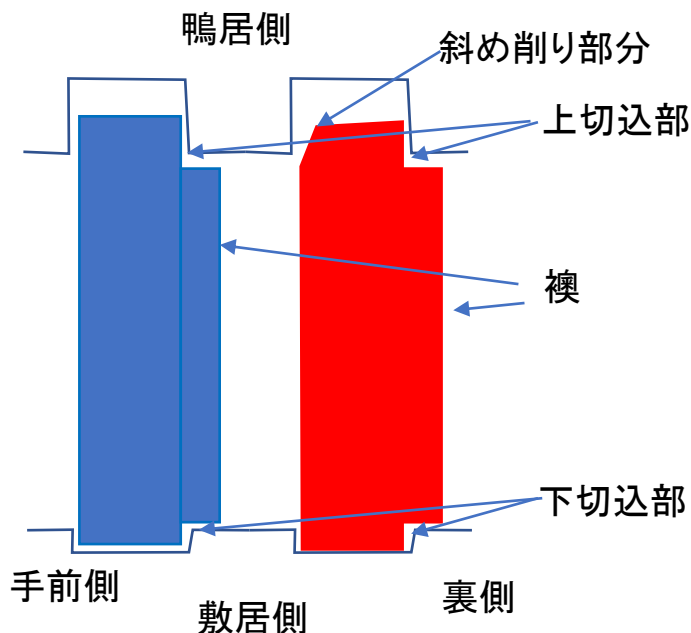


図1-4 襖と鴨居・敷居の関係

図1-4に、襖と鴨居・敷居の関係を示します。外枠を外した時に、位置の印を付けていなかった場合、前側であったか後側の襖用の枠であったか、はたまた、右枠であったか左枠であったか、或いは上であったか、下であったかが分からなくなる場合があります。その時は、以下の情報を参考としてください。

- ① 先ず、上下枠の見分け方は、枠の縦方向長さの長い方が上枠です。表裏は分からないので、枠を外した時に、表側が分かる様に油性ペン等で印を付けて置きます。
- ② 横枠の上下方向の見分け方は、切込部の短い方が下、長い方が上側となります。
- ③ 左右の横枠の見分け方は、枠を上にした場合、枠に塗りが有る方が外側になります。即ち、塗りが右に有る場合は右枠、塗りが左に有る場合は左枠、となります。

- ④ 手前側襖か後側かの枠の見分け方は、枠を上にした場合、図1-4に示す様に、後側の枠の上部は少し斜めに削っています。これは後襖を鴨居に入れる場合に楽に入る様にするためです。ここで見分けてください。(プロで無い方は、襖1枚づつ、作業をした方が間違い無いでしょう。)

1.2 材料と道具

	材料	数量	金額
①	襖紙	最低1対 940mmx1800mm	1500円～
②	下張り用補修紙	必要であれば。940mmx1800mm	380円
③	でんぷん糊	330g	110円
④	建具用木ねじ	2mm x 36mm 30本入り	1袋370円
⑤	画びょう	80本入り	1セット 110円
⑥	引手	必要であれば。	プラスチック 98円/個 ステンレス 298円/個

	道具名	数量/備考		道具名	数量/備考
①	釘抜付き金づち	枠外し	⑧	油性ペン/直線棒	1個
②	マイナスドライバー	枠外し	⑨	網戸クリップ	最低4個
③	プラスドライバー	枠取付	⑩	画びょう	襖紙固定
④	刷毛	襖紙張り	⑪	コーナークランプ	枠同志固定
⑤	糊溶かし用の皿		⑫	ラジオペンチ	引手釘抜
⑥	カッター	襖紙の切取	⑬	定規	線引/紙切取
⑦	錐	木ねじ挿入用			

1.2 材料と道具（続き）

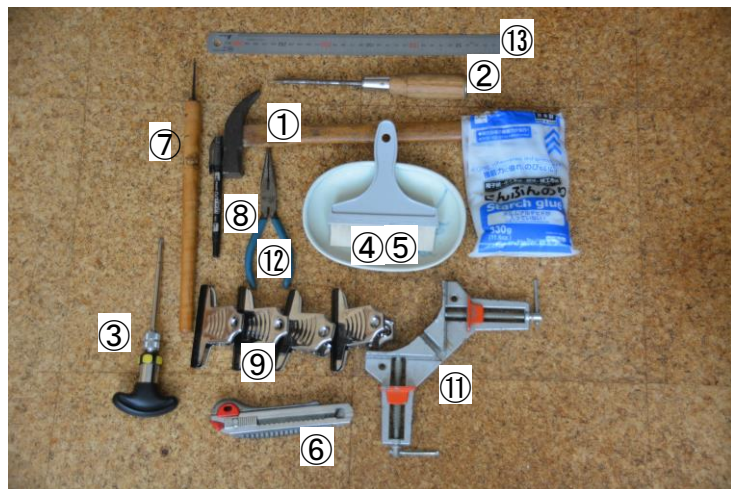


写真1.6 使用した道具類

写真1.6は実際に使用した道具類です。

左から、③のプラスドライバー、⑦錐、中央上から、⑬の定規、②のマイナスドライバー、①の釘抜き金づち、錐の横は、⑧の油性ペン、⑫のラジオペンチ、④⑤の刷毛と糊溶かし用の皿、ラジオペンチの下が、⑨の網戸クリップ(4個)、⑪のコーナークランプ、⑥のカッター、

右がでんぷん糊です。

写真1.7は建具用木ねじです。ほぼ釘と同じ寸法ですので、釘よりこちらの**木ねじの方が作業はしやすい**です。

写真1.8は画びょうです。糊付け後の襖紙の固定時に使用します。(商品名は、クリアカラープッシュピン)
この種の画びょうですと、取付、取外しが比較的容易です。



写真1.7 建具用木ねじ



写真1.8 画びょう

2 張替え作業

2.1 枠の取り外し



写真2.1-1 枠外し

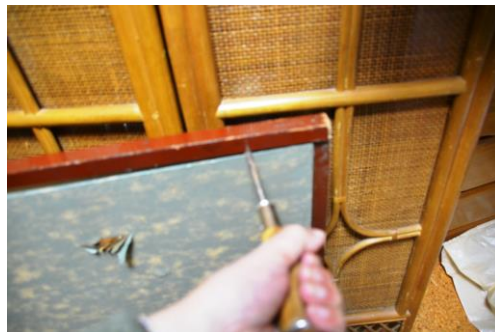


写真2.1-2 枠外し



写真2.1-3 枠外し

- ①襖張りで一番難しい工程の一つです。先ず横枠の上部から外していきます。この時に無理をして枠が壊れない様に、マイナスドライバーを使い、上枠と横枠の間に入れて(写真2.1-1参照)、金づちでゆっくりと分離していきます。
- ②写真2.1-2は、下枠と横枠の間に横からマイナスドライバーを入れて、枠を外しているところです。写真2.1-1の様に入らない場合は、横からトライしてみてください。
- ③写真2.1-3は、枠を分離した状態です。外したら、枠のどちらが表か、どちらが上か、枠は右側か左側かが分かる様にしておきます。これが意外に忘れがちになりますので、注意が必要です。

2.1 枠の取り外し（続き）



写真2.1-4 引手の外し

- ④枠を外したら、最後に引手を取り外します。この場合、ボールを入れて、ゆっくり引手を引き起こして釘を緩くし、その後、先の細いラジオペンチを使用して、釘を抜きます。（釘は取付の時に使いますので、保存しておいてください）

（ここで失敗をしました。ボール(実際には釘抜付き金づちを使用)で釘を緩くする工程を省き、直接ラジオペンチで釘を抜こうとして、写真2.1-4の様に、プラスチックの引手を壊してしまいました。）意外に慎重を要する作業です。



写真2.1-5 木枠



写真2.1-6 引手部

- ⑤写真2.1-5は外枠を外した木枠全体の写真です。

- ⑥写真2.1-6は、引手部の拡大写真です。使用した引手が円形なので、下の引手部(木)も円形にくりぬかれています。

2.2 襖紙の張替え



写真2.2-1 張替え

- ① 襖紙に糊を塗る前に、広いスペースを見つけて、ごみが無い様に掃除し、紙の表面を下にして襖紙を広げ、紙が反らない様に四方に重しを載せます。(写真2.2-1)
- ② でんぷん糊を深めの皿に入れ、適量の水を加えて溶きます。
- ③ 油性ペンで印を付けた内側に、上記②の糊を素早く塗ります。(プロであれば、縁迄一気に糊付けするのですが、ちゃんとした設備・装置が無いいため、取り敢えず、表面だけ糊付けしました。)



- ④ 分離した木枠を正確に印を付けた内側に載せます。(多少ずれることが有りますので、素早く修正します)
- ⑤ 襖紙を少し引っ張り、四方を網戸用クリップで止めます。(必要に応じて、画びょうで仮り止めします。)(写真2.2-2)

写真2.2-2 張替え

2.2 襖紙の張替え（続き）



写真2.2-3 張替え

- ⑥ 襖紙を貼った木枠を裏返しにして、しわを伸ばします。
（これをしないと、最後までしわだらけになりますので
注意が必要です。）

写真2.2-3は、裏返しにした状態です。矢張りしわが
出来ました。

2.3 襖縁の張り



写真2.3-1 縁紙の切取



写真2.3-2 縁紙の張付け



写真2.3-3 縁紙の張付け

- ① 襖紙を貼った木枠を裏返しにして、しわを伸ばします。
- ② 先ず、横枠の木枠の部分に定規を当て、余分な紙を切り取ります。(写真2.3-1)
- ③ 次に横枠の木枠と縁の部分の襖紙に糊を塗り、しわを伸ばし、四方を網戸用クリップと画びょうで止めます。写真2.3-2は、縁の部分画びょうで止めているところです。
- ④ 写真2.3-3は、木枠状態での張替えが完了した状態です。

2.4 外枠の取付



写真2.4-1 釘の取外し



写真2.4-2 外枠の固定

- ① いよいよ最終段階になります。まず、外枠から釘を取り外します(写真2.4-1)。(釘の取り外しはどの時点で遣ってもOKです。今回は、釘の方向が分かる様に、取付直前に行いました。)
- ② 次に横枠と下枠を固定します。この場合、**横枠と下枠の下面部分が面一(つらいち)になる様にします。ここが大事です。下面部分は、襖の表面になります。**(写真2.4-2の様に、コーナークランプを用い、枠同士が直角になる様にしました。)
- ③ 上記②の状態で、**建具用木ねじを使用し**、枠同士を固定します。(釘よりも木ねじの方が、作業性が良く、また後々の修正にも便利です。)(**きつく締めないでください。**)
- ④ 同様にして、4本の外枠を固定します。(くれぐれも、枠同士が、表裏逆にならない様に、してください。)

2.5 外枠への木枠の取付から完成まで



写真2.5-1 外枠への木枠の取付



写真2.5-2 固定用の錐穴あけ

- ① 前記2.4で作成した外枠を、外枠の表面が下になる様に設定します。**ここで間違えると裏表が逆になります。**
- ② 外枠に襖木枠を、**襖面を下になる様**に設定して嵌め込みます。(写真2.5-1)
- ③ 写真2.5-1の状態では、外枠と襖木枠は一体化していませんので、先ず、下枠と襖木枠を木ねじで固定します。下枠はすべり面ですので、木ねじはしっかり中に入る様にねじ込みます。
- ④ 次に、横枠の中央部分から襖木枠を木ねじで固定します。写真2.5-2は横枠に錐で穴をあけて、固定する場面です。
- ⑤ 3方向(下、左右)を同様に木ねじで固定します。最後に上枠を固定します。**最終工程ですので、ねじはきつく締め付けます。**緩いと、鴨居・敷居に入れた時に襖が動かないことがありますので、注意してください。

2.5 外枠への木枠の取付から完成まで（続き）

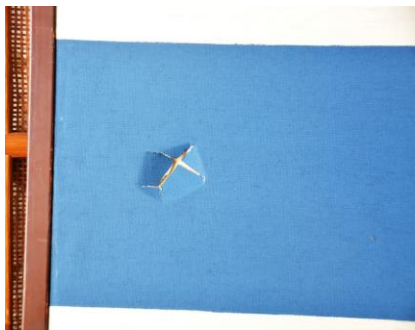


写真2.5-3 引手の取付

- ⑥ 引手穴を開けます。引手の位置は、1.1(2)木枠の寸法で計算した位置ですので、間違いのない様にします。写真2.5-3は引手の位置にカッターで穴をあけたところです。
(汝 過ちすな、心して…)

- ⑦ 引手を取り付けます。**これが中々難しいです**。釘穴が上下の位置になる様にして、釘を打ち付けます。釘が中々入らないので、釘を斜めにすると良いのではないかと思います。

- ⑧ 写真2.5-4は表面の完成です。



写真2.5-4 完成

2.5 外枠への木枠の取付から完成まで（続き）



- ⑨ 写真1.3の表面と同様、裏面も大分破れていました。このため、表面が完成した後で、裏面の手当をしました。
- ⑩ 写真2.5-5は、手持ちの障子紙を花びらの様に切り、手当をしたところです。
- ⑪ 写真2.5-6は、一對の襖(押入)の完成品です。(写真では分かりませんが、前後の襖で、帯の位置が多少違ってきます。一人での襖張りの限界でしょうか。)

写真2.5-5 裏面の手当



写真2.5-6 完成

3 考察

一人での押入用の襖張り作業を終えて、以下の知見を得ました。

- ① 一人でも本襖張り作業は可能であることが分かりました。但し、襖紙を木枠に張る時(今回の2.2④の作業)だけは、二人での慎重な位置合わせが必要と思いました。
- ② 今回、糊付きの襖紙を使用しました。襖紙を濡らして作業したのですが、接着力が強く、襖紙と木枠の位置合わせ・修正が一人では無理であることが分かりました。このため、一人で作業する場合は、自分で糊を付けるタイプの襖紙を使用することを薦めます。(位置修正が少しは楽です。)
- ③ 枠固定に釘を使わず、建具用木ねじを使用したのは、正解でした。木ねじを使用するメリットは、作業時に左程の音が立たないので、夜でも作業が出来る事、固定位置の修正が簡単な事、外枠の取外しが容易なので張替えに関する精神的抵抗が少ない事が挙げられます。
- ④ 襖紙には、帯の入った柄は、初心者あるいは一人での作業には、推奨できません。無地を使用ください。